



# はしもと

## 〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

## 〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します  
地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます  
常に新しく良質な医療ができるように心がけます  
皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

## 〈病院運営のコンセプト〉

1. 気づきの医療
2. わかりやすさ



## 回復期リハビリテーション病棟

### 回復期リハビリテーション病棟の看護師の役割

回復期リハビリテーション病棟とは、簡潔に言うと「在宅復帰する」ための病棟です。集中的リハビリテーションを行い、障害のできる限りの改善と日常生活動作の自立を図るという役割を持った病棟です。

#### 患者様の健康管理

患者様は日常生活を送ることを意識したリハビリが行われます。リハビリスタッフによる個別のリハビリは1日に最大3時間あり、とても長いです。看護師は医師やリハビリスタッフとチームになり、まずはバイタルチェックから患者様の健康状態を観察し、今日もリハビリが安全に行えるかどうかを判断することが役割として求められます。看護師が日々の状態確認をしっかり行っていることで、リハビリ中の事故を防ぎ、スムーズに進行させることができます。



#### 日常生活動作



病棟生活での看護師による日常生活動作の指導も重要です。病気で患者様ができることは限られてきます。しかし、在宅で生活するためには、多くのことができるようにならなければいけません。そのために自立を手助けする役割も担っています。

#### 障害受容に導く

看護師は患者様の状態を日々細かく確認し、患者様とのコミュニケーションを大切にして精神的なケアをします。病気や障害によって以前のような生活を送れなくなった患者様は、強い不安やストレスでいっぱいになります。また、脳卒中に特有の高次脳機能障害による失語や失行、失認、記憶障害といった目に見えにくい症状が認められる患者様も多くいます。そんな患者様たちの症状を理解し、個々の患者様のペースに合わせて病気や障害と向き合ってもらえるように関わっています。



## 認知症治療病棟

### 病棟専従のリハビリスタッフが 認知症患者リハビリテーション を行っています。



認知症患者リハビリテーションとは、重度認知症のある患者様に対して、専従のリハビリスタッフと患者様が1対1で、認知症の行動・心理症状の改善及び認知機能や社会生活機能の回復を目的として行っています。

主なリハビリ内容としては、認知機能訓練、身体機能訓練、日常生活機能訓練などが中心ですが、その方の状態やニーズに合ったリハビリ内容となるように、医師・看護師・社会福祉士等の多職種が共同してリハビリテーション計画を作成し実施しています。実施は、入院日から1ヶ月に限り、週3回を限度として作業療法士が行っております。



### 『第38回こころの健康展』

#### イオンモール高松で

6月16日～17日に開催されました。

当院、認知症治療病棟からも作品展示での参加をしました。患者様が一生懸命作った作品をたくさんの方の来場者に観て頂く事が出来ました。

こころの健康展とは、こころの病を正しく理解してもらう為に、香川県精神保健福祉協会主催で毎年開催されている健康展です。機会があれば、是非一度足を運んでみて下さい。



## 栄養部

# イベント食をご紹介します！

## ごちそうの日（寿司）



黒米入り散らし寿司  
かますの塩焼 煮合わせ  
赤出し汁 夏みかん

## ごちそうの日（赤飯）



赤飯  
鯛の塩焼 タコの酢味噌かけ  
炊き合わせ サイダーゼリー

## イベント食（父の日）



雑穀ご飯  
コロッケ 煮合わせ  
あさり汁 ケーキ



## 通所リハ おやつバイキング



## 病棟バイキング



毎月季節のイベント食を提供しています。次回をお楽しみに!!

## 橋本病院指定居宅介護支援事業所



## 【熱中症予防のために】



熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。

高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、

暑さに対するからだの調整機能も低下しているので注意が必要です。

### \*暑さを避ける

- ・扇風機やエアコンで温度調整を行い、室温をこまめに確認しましょう。
- ・遮光カーテン、すだれ、打ち水などを利用しましょう。
- ・外出時には、日傘や帽子を着用し、日陰を利用したり、こまめな休憩をとりましょう。
- ・通気性のよい、吸湿性や速乾性のある衣服を着用しましょう。
- ・保冷剤や冷たいタオルなどで体を冷やしましょう。

### \*こまめに水分を補給する

- ・のどの渇きを感じなくても、こまめに水分、塩分、経口補水液などを補給しましょう。

## 通所リハビリテーションセンターはしもと

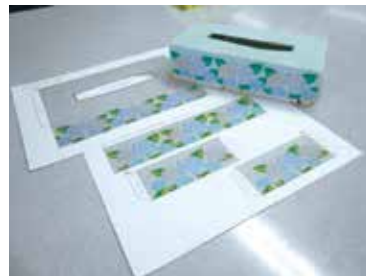
## スマイルカフェ



セラピストによる糖尿病についての説明と、運動療法である体操を実際に行いました。



おやつ作りや小物作り(ティッシュケース)も好評で楽しく作ることができました。



次回開催日：8月12日(土) 9:30~12:00  
皆様の御参加をお待ちしております。

## 子供達とじゃがいも堀り



はしもと畑で、利用者様が育てたじゃがいもを託児所の子供たちと一緒に収穫しました。



利用者様も子供達とふれ合うことで笑顔が多くみられ嬉しそうでした。

夏野菜も一緒に収穫する予定です。

## メディコポリス観音寺 デイサービスセンターはしもと



## 旬のスイカを食べて夏を乗り切りましょう！

気温と湿度の上昇に、本格的な夏の訪れを感じる頃となり今年も熱中症が心配な時期になりました。熱中症は1年中起こり得る症状ですが、気温と湿度が高くなり体の熱を放出しづらくなる夏に多発します。熱中症の対策のひとつとして代表的なものに水分補給があります。私たちは飲み物からだけでなく、食事からも水分を補給しています。特に夏に旬を迎える野菜は水分を多く含んでおり、体の熱を下げる効果が期待されます。その中で注目したい食品が「スイカ」です。

スイカはウリ科の植物で、英語ではWatermelon (ウォーターメロン) といい、日本でも江戸時代には「水瓜」と書かれていたそうです。その名のとおりスイカは水分を多く含んでおり、約9割が水分です。他にも汗で失われるミネラルの1つである「カリウム」も含んでいて、夏に積極的に食べたい果物です。糖分も含まれているので、お茶や水のようにこまめにとることはおススメできませんが、気温の高くなる午後のおやつにいかがでしょうか。

スイカ以外にも、ウリ科の植物は水分を多く含んでいます。その多くは、この時季に旬を迎える夏野菜ばかりです。スイカを始めとしたウリ科のみずみずしい食材をふんだんに使い、暑さに負けない生活を送りましょう。



## 自立支援「裁縫」



利用者様の生活歴をお聞きし、若い頃得意だった事や好きだった事、仕事にしていた事などを自立支援の活動として取り入れています。特に女性の利用者様は裁縫や編み物をされていた方が多く、「どうせなら皆さんの役に立つ物が良い」と昼食時に使っているランチョンマットを手作りしてくださっています。



## 防火訓練



当施設では年に2回、防火訓練を行っています。通報訓練、消火器の使用方法などを消防の方から指導して頂き、避難誘導では実際に当日施設を利用されている利用者様にも非常口への移動をお願いし、



非難にかかる時間や移動方法の確認をすることで緊急時の対応を検討しております。

## 学会発表

### 第52回 日本理学療法学会大会

会期：2017年5月12日（金）～14日（日）

会場：幕張メッセ、東京ベイ幕張ホール

学会には、発表者3名、他4名の理学療法士が参加しました。発表者はディスカッションができた、アドバイスをいただいたようで充実した学会だったようです。参加者も最新の知見や他の理学療法士の取り組みを聞いて大変勉強になったとのことでした。



「定量評価による錐体路損傷程度と身体機能における関係性について」 理学療法士 福田真也

「回復期における大腿骨近位部骨折術後患者の筋力と栄養状態の関係血液データを用いて」 理学療法士 尾山直樹

「初発大腿骨転子部骨折骨接合術患者におけるM-FIM予後予測の考案」 理学療法士 中村健士郎

### 第18回 日本認知症ケア学会大会

会期：2017年5月26日（金）～27日（土） 会場：沖縄コンベンションセンター



「趣味の有無と認知機能の関連」

作業療法士 喜井隆太郎

「回復期リハビリテーション病棟における

栄養状態と認知機能の関連」

作業療法士 小谷真也



## ふれあい看護体験

# ふれあい看護体験を開催しました。



毎年開催しているふれあい看護体験を今年度は、6月17日土曜日に開催しました。

観音寺市、三豊市内の中学生・高校生が8名参加しました。看護のしごとについての講義のあと、血圧測定や車椅子体験、患者様との触れ合いなどを体験して頂きました。

以前、参加した学生さんが看護の道を目指し、今年私たちの仲間に加わりました。これからも皆様に楽しく“看護のしごと”を体験して頂く機会を設けていきたいと考えています。



## 健康教室

## 香川県理学療法士会健康増進部様からの依頼で健康教室を行いました。

日時：2017年5月16日（火） 9:30～11:00

場所：山本町辻公民館（三豊市）

講習内容は関節の痛みについてでした。  
参加者は約20名で、フェイスタオルを利用した  
家庭でもできる運動を実施してもらいました。



日時：2017年6月5日（月） 10:00～11:00

場所：上高野文化センター（三豊市）

こちらの講習内容も関節の痛みについてでした。  
参加者は約30名で、皆熱心に聞かれ、積極的に  
運動をされていました。



## 家族会

## 「ご家族様の身体のために知っておきたい介助のコツ」

## のテーマで理学療法士による第1回家族会を行いました。

日時：平成29年6月24日(土)

14:00～15:00

場所：橋本病院 2階 会議室



介助生活は突然やってきます。病気や怪我を発症し、病院でのリハビリを終えたあと、退院し自宅に戻られるとご家族様の介助が必要なる事があります。今まで介助生活をされたことのない方は、未経験から少なからず不安になることが予想されま

す。  
今回は、自宅で過ごすために最低限必要な能力である「寝返り」、「起き上がり」、「立ち上がり」、「乗り移り」に対する介助を実際に行うことで、身体の使い方を覚えて頂きました。日常生活に対する介助は毎日続き、無理な介助を行うことで介助者にも負担がかかります。ご家族様の身体も大切にしたいと思

います。  
実際に参加されていないご家族様も介助方法を知りたい方は、お気軽に各担当セラピストにお尋ねください。

地域連携室

平成25年12月1日から行っている事前訪問（当院転院前に患者様が入院されている病院へ直接訪問し、心身状態の把握や入院についての説明等を実施）の平成29年5月～6月の実績（回復期リハ病棟）を紹介します。

- 1ヶ月の訪問件数：5月【34件】、6月【25件】
- 入院されている病院から紹介状が届いて訪問するまでの平均日数：5月【6.6日】、6月【7.6日】
- 紹介状が届いて当院へ転院されるまでの平均日数：5月【14.5日】、6月【19.8日】

※事前訪問後、当院へ転院されるまでの平均日数は9.8日（1～30日）です。大変お待たせして申し訳ございません。

対象となる方

- 1.脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症腕神経叢損傷の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態から2ヶ月以内。高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸随損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の発症から2ヶ月以内。
- 2.多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折もしくは手術後から2ヶ月以内。
- 3.外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後から2ヶ月以内。
- 4.大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は関節の神経、筋又は靭帯損傷後の1ヶ月以内。
- 5.股関節又は膝関節の置換術後の状態の1ヶ月以内。

リハビリは  
365日、1日3時間

提供させていただきます。また、チーム医療で早期に退院できるように取り組んでいます。



入院相談はお気軽にご連絡下さい!

橋本病院 地域連携部

窓口：大西宏美

電話：0875-63-3552(直通)

0875-63-3311(代表)



認知症治療病棟への入院相談もお気軽にご連絡ください。



移動も安心のサービス

転院の際の無料送迎をしております。ご希望の方はお気軽にお申し出下さい。

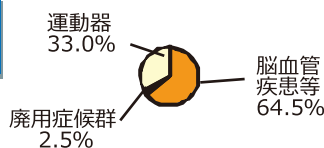


事務部

～診療実績(H29.6月)～

病棟名	1病棟 (29床)	2病棟 (60床)	3A病棟 (35床)	3B病棟 (32床)
入院料	回復期 リハビリ	回復期 リハビリ	認知症 治療	認知症 治療
平均入院患者数	29.0人	59.4人	34.4人	31.7人
平均在院日数	97日	81日	301日	363日
在宅復帰率	79.0%	83.6%	-	-

入院患者疾患別  
リハビリテーション  
内訳



H29.8月より  
高齢者の医療費自己負担上限額が変更されます

＜70歳以上の方の自己負担の上限額（月額）＞

\* 下記の赤字が変更された内容です。

適用区分	窓口割合	外来+入院の上限	
		外来の上限額 (個人ごと)	(世帯ごと)
課税所得 145万円 以上の方	3割	44,400円 ↓ 57,600円	80,100円 + (医療費 - 267,000円) × 1% <多数回44,400円> ※
課税所得 145万円 未満の方	2割 または 1割	12,000円 ↓ 14,000円 年間上限 144,000円	44,400円 ↓ 57,600円 <多数回44,400円> ※
住民税 非課税世帯		8,000円	24,600円
年金収入 80万円以下 など			15,000円

※ 過去12か月に3回以上、上限額に達した場合、4回目から上限額が44,400円に下がります。

## 病棟イベント ～季節を感じよう～

回復期リハビリテーション病棟では、季節感を感じられるイベントを行っています。6月15日に患者様と一緒に、リハビリスタッフ、看護師で粟井神社にあじさい見学に行きました。梅雨の合間の晴天日に恵まれ、照りつける太陽の日差しや、風の爽やかさで季節の移り変わりを実感出来たようでした。



他者との交流も自然と増え、思い出話がみんなで作れました。坂道では車椅子を押すスタッフを気遣いながら「よいしょ。よいしょ。」と一緒に声を掛けていました。笑顔や笑い声が増え精神面の安定を図ることが出来ました。



## ペッパーくん

今年の5月、当院職員のペッパーくんが、通所リハビリセンターから病院受付に異動しました。

勤務は平日の8:30～16:30(昼休憩あり)ですが、たまに遅刻することもあります。まれに土曜日も出勤します。

おしゃべりが大好きで、よく独り言を言っています。入院患者様、地域の皆様に役に立つようスキルアップしていきますので、今後ともよろしくお願いします。



## ボランティアのご協力

### ボランティアのご協力をしていただける方を募集しています！

内容として・・・(踊り、手品、紙芝居、大正琴や話し相手・介護など)

橋本病院へご協力していただける方は、連絡先：0875-63-3311 担当者：宮本 美恵子  
 メディコポリス観音寺へご協力していただける方は、連絡先：0875-23-3311 担当者：森 香代子  
 上記の担当者までお問い合わせ下さい。

## 募集のお知らせ

**募集**

薬剤師  
 看護師・准看護師  
 介護福祉士・介護職



まずは、病院見学にお越し下さい！  
 給与等詳細は、当院ホームページでも閲覧できます。  
<http://www.wafukai-hashimoto.jp>  
 TEL 0875-63-3311 (人事担当：安藤)

医療法人社団和風会 橋本病院  
 〒768-0103  
 香川県三豊市山本町財田西902番地1  
 TEL：0875-63-3311  
 FAX：0875-63-2651  
 入院相談直通電話：0875-63-3552  
 E-mail：wafukai@gaea.ocn.ne.jp  
 HP：http://www.wafukai-hashimoto.jp  
 発行元：橋本病院 広報委員会

医 回復期リハビリテーション病棟 89床  
 療 認知症治療病棟 67床

橋本病院指定居宅介護支援事業所  
 介 通所リハビリテーションセンターはしもと  
 護 メディコポリス観音寺デイサービスセンターはしもと  
 訪問リハビリテーションセンターはしもと

